

1. 開催年月日 令和5年5月25日
2. 開催場所 三原駅前キオラスクエア内 サテラス
3. 委員出席
委員総数 6名
出席委員数 4名

放送事業者出席者
2名

4. 議題

- ・局からの近況報告
- ・番組審議について

5 議事の概要

6 審議内容

(1) 開会宣言

放送事業者からの開会宣言

(2) 局からの報告

令和5年4月9日放送の特別番組「広島県議会議員選挙」について

事務局より以下の通り報告があった。

事務局「4月9日に行われた『広島県議会議員選挙』の開票速報特番を22時から放送した。他の選挙同様、開票速報番組において、FMみはらでは当確は出していない。これは独自の集計ノウハウがないため、あくまでも開票にあわせた得票数を伝えるという形に徹している。」

A 氏「票をゆっくりわかりやすく読んでいる。これはこれで良いが全体の得票数を比較したいのもっと早く読むパターンがあっても良いように思う。遅いパターンだけだと前の人得票数を忘れてしまう。」

事務局「読むスピードについては確実に伝わるようにゆっくり読んでいる。少し早く読むパターンがあった方が良いという意見はこれまでになかった。今後のために読むスピードについても検証してみたい。」

B 氏「補足するようであるが当確を出すにはいろいろな指標が必要。出口調査や自社において集めた数字を査定する方程式がいる。今のFMみはらでの環境では開票数字を伝えることのみになるというのは仕方がないのではないか。」

事務局「当確を出すというのはコミュニティFM局では難しい。その代わりに事前に市民の声を録音して放送するなど独自の方法を検討していきたい。」

第一号議案「番組審議について」

番組名：モーニング

放送日：毎週月曜日から金曜日7時から9時まで

事務局「開局以来、放送している情報番組。朝一番の情報番組として届けている。今回、聴いて頂いたのはオープニングの部分。モーニング担当の3人それぞれのオープニング部分を聴いてもらった。番組に入っていく部分がどうか、感想をそれぞれ聞かせて欲しい。続けて番組を聴いてみたいと感じるか？それとも番組に乗れずに他局の放送を聴こうと思うか？とても大切な部分。意見があれば聞かせて欲しい。」

C 氏「バランスがとても良いように思う。個人的な意見だが『ローカル過ぎず、また、中央（東京）寄りになりすぎない』ことが大切だと思っている。あまりにローカルになりすぎると聞きづらいし、あまりに都会的になりすぎるとコミュニティ放送局としての役割から離れる。このバランスが取れるように構成することが大切だと思う。その中において現在のFMみはらの放送は聴きやすくなっている。これはバランスが取れているせいだと思う。」

D 氏「番組開始から曲が始まるまでそれぞれ時間を測った。一番早い人はオープニングトークから曲が始まるまでが3分間。二番目が5分間。三番目は7分間。個人的には朝一番なのでオープニングトークは短い方が良い。スタートはすっきり始まった方が聴きやすい。逆に朝から長い話を聞かされるとしんどい。」

事務局「日別でメッセージテーマを決めている。この説明に時間がかかることがある。月曜日が短いのはメッセージテーマが『週末なにしてた？』という固定テーマになっていることが影響しているかもしれない。」

B 氏「ラジオを聴くタイミングは何かをしながらのことが多い。パーソナリティがする世間話から情報を得ることもある。無駄な用に思える世間話も大切。」

C 氏「みんなに知ってもらうために番組の宣伝をした方が良いのではないか。番組は流しているのか。」

事務局「『モーニング』『イブニングスペシャル』このような情報番組についての番組宣伝は流していない。みんなに知ってもらう聴いてもらう事が大切。今後に向けて検討をしてみたい。野球シーズン真っ只中。どうしても夕方時間帯になると野球をラジオで聴こうという人が増える。その人たちに聴いてもらうために番組の宣伝も必要かもしれない。」

D 氏「とにかく、朝はくどいのは良くない。テンポよく番組を進めることを考えて欲しい。」

第二号議案「要望について」

A 氏「トンネルの中で聴けない。FMみはら自体ではどうにもならないかもしれないが何とか聴くことはできないか。どうしてもトンネルで放送が入らないと他局に変えてしまう。」

事務局「トンネルに独自のアンテナを準備しないとイケない。」

B 氏「どうしてもトンネルで聴けない場合はサイマル放送で聴くようにしている。もっとサイマル放送で聴けることを伝えていく必要があるのではないか。」

C 氏「サイマル放送で聴くためのQRコード。FMみはらのポスターに入っている。他の媒体にもこのQRコードを入れて告知して聴いてもらうようにした方が良いと思う。」